



▲親身に話を聞くジョブサポート舞鶴



▲夏の就職フェアでは多数の企業が参加



▲高校生が企業に触れるジョブエキスポ



▲若年層にも多種の仕事がある

INTERVIEW

三重県で働いていましたが、家庭の事情から舞鶴に帰ることを検討していたところ、就職フェアが開催されることを知り参加しました。そこで就職を決め戻ってくる事ができたのですが、戻ってくるといろいろな人が支えてくれ、また先輩方もしっかり指導してくれます。私は35歳で良い企業に就職し、Uターンできましたが、ジョブサポの皆さんからのフォローアップもあり、安心して働いています。就職フェアは企業が一堂に会するため、就職活動で休暇を取る回数が少なくすむので、仕事を探しやすく、Uターンを考えている人はぜひ参加して一歩を踏み出してほしいと思います。



弥栄電設工業株式会社
大谷 一史さん

INTERVIEW

コロナ禍で雇用環境が厳しい時期もあった中、舞鶴市内の事業所は採用数を確保するなど、生徒が地元で就職できるよう努力をしてもらっていて、地元の高校を気に掛けていただいていると感じています。就職フェアやジョブエキスポはそんな地元企業を知るうえで重要な取り組みであり、生徒たちには参加して最低3社と話をし、企業への理解を深めるように指導しています。地元の将来を担っていくのは高校卒業後そのまま就職する生徒であることも多く、今後もそうした人材を増やすため、生徒たちがこれまで以上にさまざまな職種を選択できるような支援もあればと思います。



東舞鶴高校 進路指導部
桐村 琢生さん

皆さんの家族、友人など身近な人で「舞鶴に帰ってこようかな」と思っている人や「都会の暮らしが合わない」と

働きたいまち舞鶴へ

舞鶴では常にUターン相談を受け付けており、市内企業の情報提供、自分にあった仕事探しのサポートなど舞鶴での就職を応援しています。

このほか、ジョブサポート

Uターンを支援

令和4年6月に開催した同イベントには、中丹地域11校から高校生81人、保護者14人、高校教諭16人が参加。舞鶴市の事業所12社を含む中丹地域36社が熱く自社の魅力を発信されました。

言っている人はいませんか。迷っている人には「舞鶴にも良い仕事あるらしいで！就職フェアに参加してみたら」と声を掛けてください。その一言で、舞鶴での地元就職、舞鶴へのUターン就職が増えていくかもしれません。皆さん一人ひとりがふるさと舞鶴のリクルーターです。今後は、公的機関だけではなく、皆さんと一緒に生活している人など、地元就職・Uターン就職を勧め、就労支援のさらなる充実を目指す中で、本市が人や企業に選ばれるまちとなるよう取り組んでいきます。

春の就職フェア

企業約50社が参加する春の就職フェアを開催。参加無料。
【日時】3月11日(土)13時～15時30分
【場所】商工観光センター
【問い合わせ先】産業創造・雇用促進課 ☎66・1021



第7次舞鶴市総合計画に基づき、まちづくりの方向性や市の取り組み施策・事業をお伝えする「市政の今」。今回は、舞鶴の就労支援の取り組みについて紹介します。



SDGs未来都市

魅力的な仕事がある
働きたいまち舞鶴へ

舞鶴の雇用を取り巻く環境

全国の正社員有効求人倍率(※)が1.00を割り込む中、舞鶴市は1.24という高い数値を示しています。市内には、製造、建設、運送、医療福祉、情報通信、港湾に関する仕事などバランスよくさまざまな仕事があり、福利厚生・給与面も充実した世界的な大企業、高いものづくり技術を持つ企業、女性も働きやすい企業、社会貢献に取り組む企業など独自の魅力を持った事業所が約3,300も所在しています。

しかしながら人口減少が進み、市内の事業所は人手不足という課題に直面しています。

こうした中、市では舞鶴市で生まれ育った人などに、市内には魅力的な働く場所が

あることや事業所の魅力を伝え、地元就職・Uターン就職を促す取り組みを推進しています。

高等教育機関等への働き掛け

本市に立地する高等教育機関や高等学校、中学校などで「舞鶴市の産業」「舞鶴での仕事」「舞鶴での暮らし」をテーマに講義をしています。舞鶴市内の事業所からも講師として参加いただき、舞鶴で働き、暮らすことの魅力を伝えていきます。

さらには、高校生が地元企業のことをより深く知ることができるよう中丹地域の各高校の協力を得て、地元企業が設置するブースで、高校生や保護者が事業所の説明を聞く合同企業研究会「高校生ジョブエキスポ」を開催しています。

※有効求人倍率…ハローワークに登録している求職者に対し、企業からの求人数の割合を示す経済指標。この値が1.00より大きければ求職者より求人数が多いことを意味する